

教育用NXT ソフトウェアにおける IRSeekerV2の環境設定

○免責事項

本資料に掲載する情報については、注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。株式会社アフレルは本資料の使用ならびに閲覧によって生じるいかなる損害にも責任を負いかねます。また、本資料の情報は予告無く変更される場合があります。

※この資料は、主に <http://www.hitechnic.com/> を参照して作成しています。
※各製品名及びサービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

作成日 : 2009/09/30

更新日 : 2010/03/08

【動作環境】 (2010年3月8日現在)

■ ハードウェア

- 教育用レゴ マインドストームNXT
- HiTechnic社製 IRSeekerV2 (IRSeeker Version 2)

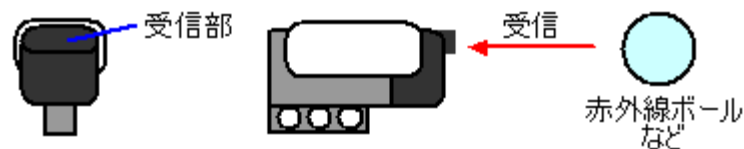
■ ソフトウェア

- 教育用NXT ソフトウェア ver2.0
- HiTechnic社製 IRSeekerV2ブロック用プログラム

- ※本資料に基づいて、環境設定を行っても、教育用NXT ソフトウェア ver2.0のデータロギング機能へのブロックは追加されません。

IRSeekerV2とは^{※1}

- HiTechnic社製 IRSeekerV2は赤外線方向とその強さを検出するセンサです。赤外線の送信機としてはHiTechnic社製「赤外線ボール(IRBall)」や「IR remote」が対応しています。
- IRSeekerV2には変調(AC)モードと非変調(DC)モードがあります。変調(AC)モードでは1200Hzの周波数で点滅する赤外線に反応します。非変調(DC)モードでは周波数に関係なく赤外線に反応します。
- NXTの入力ポートに標準のケーブルで接続して使用します。

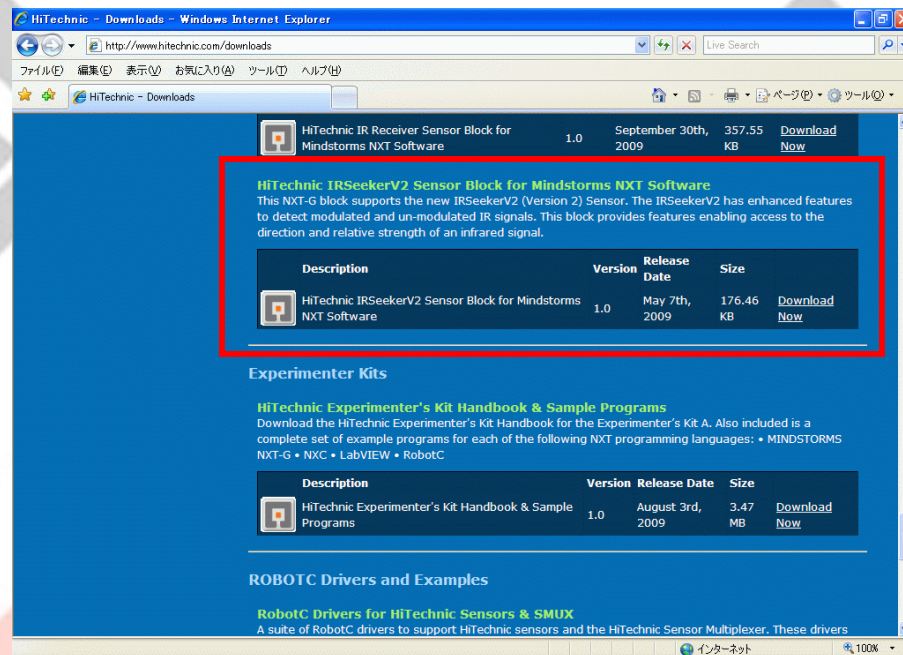


※1

HiTechnic Products社のHPより引用しています。
<http://www.hitechnic.com/>

HiTechnic IRSeekerV2ブロックのインストール

- HiTechnic社のIRSeekerV2
使用するために、専用の
センサブロックを
インストールします。
- HiTechnic社のHPから、
IRSeekerV2ブロック
をダウンロードします。



- <http://www.hitechnic.com/> のDownloads から、
HiTechnic IRSeekerV2 Sensor for Mindstorms NXT Softwareを探します。

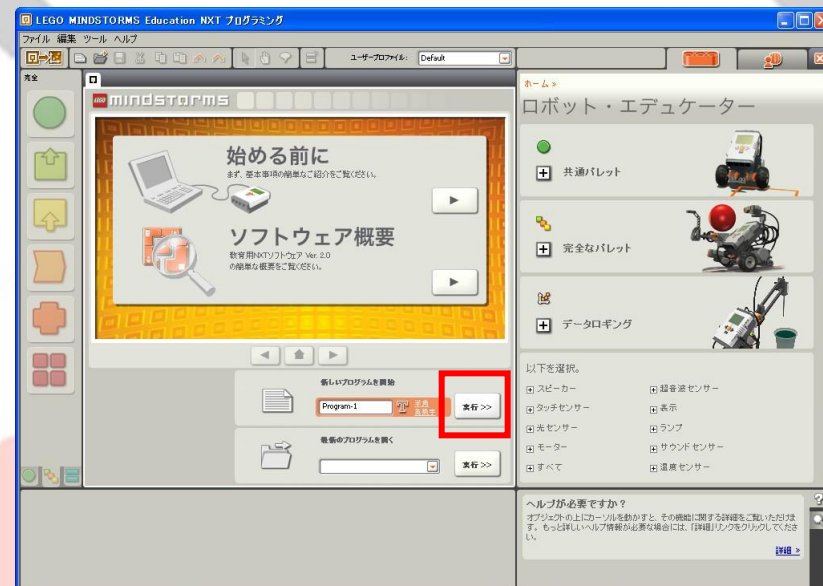
- ダウンロード画面では、ユーザ名とメールアドレスを登録して、ダウンロードを行います。HiTechnic社からのニュースやソフトウェアのアップデートに関するメールを受信しない場合には、チェックをはずして、Download Nowボタンをクリックします。
- IRSeekerV2.zipというファイルがダウンロードできます。
- このファイルを展開すると、以下のようなフォルダとファイルが作成されます。

IRSeekerV2フォルダ
 HiTechnic License Agreement.txt
 Read Me (IRSeekerV2 Block).txt

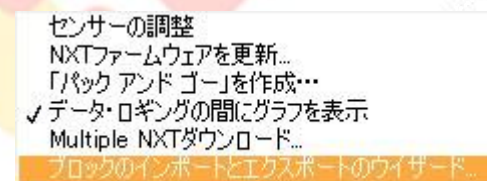


- HiTechnic IRSeekerV2ブロックのインストールには、管理者権限が必要です。

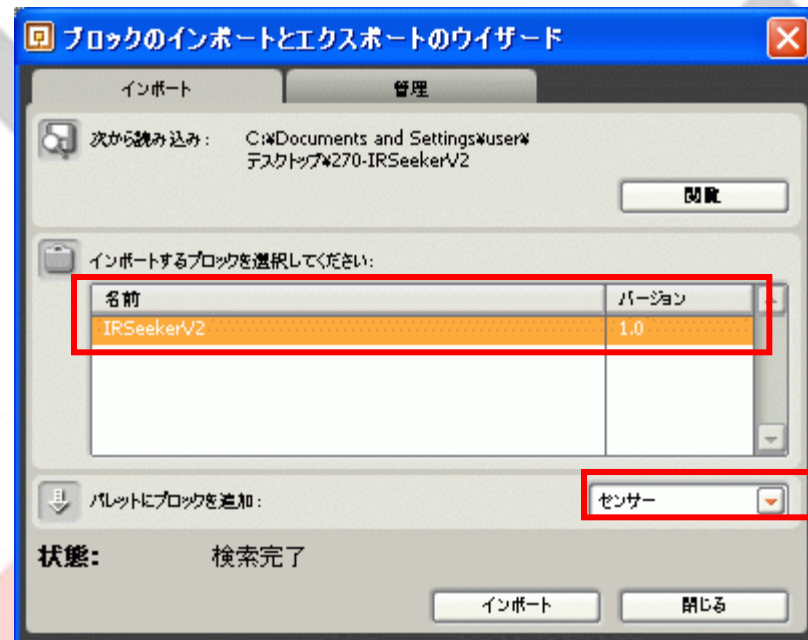
- 教育用NXT ソフトウェア ver2.0を起動し、「実行」ボタンを押してください。



- メニューの「ツール」から「ブロックのインポートとエクスポートのウィザード」を選択します。



- ブロックのインポートとエクスポートのウィザード画面で、「閲覧」ボタンを押して、先ほど解凍してできたフォルダを選択すると、インポートするブロック一覧が表示されます。インポートするブロックを選択します。
- インポートするブロックは、「IRSeekerV2」を選択します。インポートを行うパレットは、「センサー」を選択します。



- 教育用NXT ソフトウェア ver2.0を終了して、再起動してください。
追加したセンサが表示されていればインストールは完了です。

